

女性のチャレンジ支援賞を受賞して

平成19年の女性のチャレンジ賞等の受賞者が発表され、マザーネットは「女性のチャレンジ支援賞」を受賞いたしました。表彰式は、6月25日に総理大臣官邸にて行われ、表彰状は、男女共同参画大臣である高市早苗さんより手渡されました。懇談会には、ご多忙の中、安倍総理大臣も出席され、受賞者一人一人と意見交換する貴重な機会をいただきました。

■目的

この表彰は、起業、NPO法人での活動、地域活動等にチャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループを顕彰し、チャレンジの身近なモデルを示すことにより、男女共同参画社会の実現のための機運を高めることを目的として、平成16年度から実施しているとのことです。

■今回の受賞者

今回の受賞は、「女性のチャレンジ賞」4件、「女性のチャレンジ支援賞」1件、「女性のチャレンジ賞特別部門賞（地域の魅力の発信）」3件の計8件でした。マザーネットは、「女性のチャレンジ支援賞」を団体として受賞させていただきました（詳細は下表に）。



想像していたより背が高くて、素敵な方でした。一人一人と一生懸命話そうとされている姿勢には、「私もこういう人でありたい」と一瞬で尊敬しました



高市大臣と。関西弁同士で、一瞬で意気投合いたしました

■今回の受賞者の一覧

●女性のチャレンジ賞

受賞者名	所属	都道府県	活動内容
植田貴世子	(株)クラッシー代表取締役	徳島県	1997年に生活総合支援企業として設立。起業家としての実績とは別に、1995年に行政とタイアップして立ち上げた「AWAおんなあきんど塾」の初代塾長を務め、起業前後の女性経営者の様々な相談を受けている。
海野フミ子	JA静岡市理事アグリロード美和代表	静岡県	地元産の作物を活かした加工品や「生消費言弁当」を発売し、ヒットさせた。
鎌野実知子 中橋恵美子	全国子育てタクシー協会	香川県	鎌野氏は、中橋氏が設立に尽力したNPO法人「わははネット」から子育てタクシーの企画提案を受け、子育てタクシーを運行。香川県の子育て講座や保育所での保育実習を受け、終了したドライバーには「認定証」を渡すなど、「子育てタクシー」となるための研修プログラム体制を整えた。
宮崎弘美	(株)かむろみプランニング代表取締役	福島県	産後うつ病の経験から、同じ病に苦しむ母親を支援したいと考え、産後うつについての自助グループ的なサイト「ママブルー」を運営し、産後うつの回復のサポートを行っている。

●女性のチャレンジ支援賞

受賞団体名	代表者氏名	都道府県	活動内容
株式会社 マザーネット	上田理恵子	大阪府	ワーキングマザーが仕事と家事・子育てを両立していく上での問題点を解決し、「仕事を続けてよかった」と実感できる社会を創造することを会社の理念とし、ワーキングマザー自らの体験をもとに、子どもの病気に対応する病児保育などを実施している。